

足立区テニス協会内規

足立区テニス協会

足立区テニス協会は「規約」の他、内規を制定し協会規約を補完する。
基本的には、区民の為のテニス競技であり、プレーヤーが主役のテニス大会とする。

1.各大会について

(1)大会には足立区主催とテニス協会主催の2つがある。

- ①足立区主催の大会
 - ・都体予選会(シングルス)・区民大会(ダブルス)・高校生大会・ジュニア・スポーツ大会がある。
 - ・上記を除く全ての区内の大会
- ②テニス協会主催の大会

2.足立区主催の大会の出場資格

別途「出場資格一覧」参照

- ・協会会員＝協会登録者、協会登録は当該年初の登録及びその年の追加登録をいう。
- ・一般応募枠と協会登録枠は出場希望者の総数比によって決める。
- ・協会会員が一般応募で出場することは出来ない。また協会会員と一般参加者がダブルスを組んで一般応募枠で出場することは出来ない。
- ・ジュニアスポーツ大会の参加者(中・小学生)は、責任者(親・先生・コーチ等)の承認を必要とする。

3.足立区テニス協会主催の大会の出場資格

別途「出場資格一覧」参照

- ・大会は登録人数に応じた前年度の実績に基いて、クラブ毎に応募枠を指定する場合もあるが、応募枠に応募者が満たない場合はクラブの応募枠を超えて受け付けることが出来る。
- ・アダチカップ(団体戦)メンバーは当年度の協会メンバーであること。クラブ対抗戦なので、原則として同一クラブで構成すること。
但し、男子及び女子のみのクラブは他のクラブ(1クラブに限る)からメンバーを補充することが出来る。
- ・団体戦で3チームが揃わない場合は参加は認めるが試合として成立しない(初戦敗退とする)

4.各大会実施要項の確認及びローカルルール

(1)大会の受付

- ①エントリー時間(集合時間改め) <例 8:45～9:00 にエントリーを済ませること・・・とあれば>
エントリー時間内にエントリーが無ければ失格とします。(1分でも過ぎれば失格、遅れることの連絡があっても同じ)
※但し、試合時間までに間に合って、相手の了解があればゲームは行えるが試合としては成立せず勝ち上がることは出来ない。

(2)オーダーオブプレー

- ①前の試合が終了して10分を超えても選手がコートに現れない場合は失格とする。
(本部における前の試合の終了時刻を基準とする。)
- ・片方が5～10分以内の遅刻 → 遅刻したチームは第1ゲームを失う
- ・両方とも5～10分以内の遅刻 → ウォームアップなし 1-1 から試合開始
- ②オーダーオブプレーが確定した後は呼び出しはしない。
- ③控えのコートは大会運営上の都合で始めの表示を変更することがありますが、その場合はアナウンスすることを原則とします。

(3)試合の申込

- ①要項に定められた方法で期日までに申し込まなくてはならない。
- ②ドロー会議当日でも作られたドロー表にBYEがある場合のみ、BYEの試合数の範囲内で追加申し込みを受ける。
但し、希望数が多い場合は抽選とする。

(4)エントリー(ドロー発表後の選手の組み換え及び代理出場)後の選手の変更について

- ①ドロー発表後の選手の変更は出来ない。組み換え及び代理出場が判明した場合はそのチームは失格となる。
- ②組み換え及び代理出場等不正が判明した場合は、出場選手及びこれに関わった人(代って出た人・代ってもらった人、そのペア ダブルスの場合3名・シングルスの場合2名)は、6ヶ月間の足立区テニス協会主催及び主管の試合は出場停止とし、クラブ代表を通じて通告する。
- ③選手は無断で試合を欠場してはならない。無断で欠場した場合は、その後6ヶ月間の出場停止とする。
何らかの方法でエントリー時間までに大会役員に連絡すること。
又は、当日定められた大会本部の電話番号にて連絡する。
- ④団体戦のメンバーは要項で決められた選手の範囲とし、エントリー時に登録をして本部の確認を得なければならない。

(5) 服装

①着用出来ない服装

テニス用でないTシャツ・ランニングシャツ・ランニングパンツ・ジーンズ・その他不適正なウエア。
シューズは必ずテニスシューズとする。

(6) 天候による試合中止の判断

①原則として競技コートに出向き確認する。

明らかに試合が行えないことが事前に判明した場合はHPで告知し、延期または中止をする場合がある。

(7) エントリー費の返却

①エントリー費は大会ごとに定める。協会登録者と一般応募者が異なったエントリー費になることもある。

②一度徴収したエントリー費は③の場合を除いて返却しない。

③災害・悪天候の継続等不可抗力により試合が予備日を含めて中止となった場合のエントリー費は返却する。

返却方法としては協会会員は所属クラブを通じて返却し、一般エントリー者には返却する所定の場所・時間を告知し定められた方法にて返却する。この方法で返却出来ない場合は、郵送にて返却するが、郵送に伴う必要経費を差し引きし返却する。

(8) ドロー及びシード選手の決定方法

①JTAルールにとられず、足立区テニス協会が別途定めた方法で行う。

(9) 試合の判定

①セルフジャッジを基本とし、セルフジャッジで解決しない場合は、JTA及び協会内規をベースとし各大会ごとに任命されたレフリーの判断に従う。

②試合会場が複数にまたがる場合は、各会場のレフリーの合意で行うが、最終判断は大会競技委員長に委ねる事ができる。

5.その他

①足立区当テニス協会が主催・主管する大会は基本的にはJTAルールに準拠するが、当足立区テニス協会内規が該当する場合は当ルールが優先する。

②JTAルール・足立区テニス協会内規に定めのない事項は、レフリーおよび大会競技委員長の判断で対処する。

③都民大会の足立区代表選手選考については別途基準を定め、それに従う。

④都民大会予選会区民大会男・女Wの試合に出場した選手は協会から上位大会への出場要請のあった場合、特段の理由がない限り、要請をうける義務を負う。

⑤ ④の大会でベスト16に入った選手には、足立区テニス協会が公益事業として実施する区民テニス講習会のコーチ・サブコーチとして、有償ボランティアで協力を要請することができる。選手は公益事業に極力協力すること。

⑥区外の大会に出場する場合は、当該大会のルールに従うこと。

⑦この規定の改定は、常任理事会で行い、理事会の承認を得るものとする。

以上

平成23年5月28日改定

平成24年5月26日改定

平成29年5月20日改定

出場資格一覧

※基本的に、募集要項を優先とします。

2017/5/13

区民大会	協会会員	一般社会人応募者		学生応募者					
		在住者	在勤者	大学生	高等専門学生	高校生	中学生	小学生	小学生以下
都大会予選（シングルス）	○	○	○	○ 学連所属除く	×	×	×	×	×
高校生大会（B1・G1）	在住在学及び協会が承認した19歳未満				○	○	○	○	×
ジュニアスポーツ大会（B2・G2）		×	×	×	×	×	○	○	○
区民大会ダブルス大会	○	○	○	○ 学連所属除く	×	×	×	×	×

※協会会員とは、足立区テニス協会登録者。協会登録は、当該年度の登録及びその年の追加登録をいう。
 ※一般応募者と協会登録者は、出場希望者の総数比によって決める。
 ※協会会員が一般応募枠で出場することは出来ない。また協会会員と一般参加者がダブルスを組んで、一般応募枠で出場することは出来ない。
 ※ジュニアスポーツ大会の参加者（中学生・小学生）は、責任者（親・先生・コーチ等）の承認が必要とする。

協会主催大会

春季ベテランダブルス	○	該当年度の4/1現在で、各クラスのその年齢に達していること							
ウィークデイダブルス	○	○	○	初中級レベル女性対象・一般応募者との組合せ可・過去5年間の区民大会ベスト4以上は×					
小学生大会		×	×	×	×	×	×	○	×
足立カップⅠ・Ⅱ	○	協会加盟の同一クラブ員で社会人・学生年齢は問わない							
アダチミックスダブルス大会	○	該当年度の4/1現在で、各クラスのその年齢に達していること							
秋季ベテランダブルス大会	○	該当年度の4/1現在で、各クラスのその年齢に達していること							
チャレンジシングルス	○	初中級対象・区民大会その他の大会で過去2年間1.2回戦勝ち上がれない方、同程度の方・チャレンジカップ優勝準優勝者×							
ニューイヤーミックスダブルス	○一般との組合せ可	○	○	○	○	○	○	○	×
チャレンジダブルス	○	初中級対象・区民大会その他の大会で過去2年間1.2回戦勝ち上がれない方、同程度の方・チャレンジカップ優勝準優勝者×							
テニスフェスタ	○	○	○	○	○	○	×	×	×
指導者講習会	○	×	×	×	×	×	×	×	×
年末年始講習会	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※足立カップ（団体戦）メンバーは、当年度の協会メンバーであること。クラブ対抗戦なので、原則として同一クラブで構成すること。但し男子及び女子のみのクラブはほかのクラブ（1クラブに限る）からメンバーを補充することが出来る。

団体戦で3チームが揃わない場合は、参加は認めるが試合として成立しない（初戦敗退とする）

※指導者講習会は、会員以外の足立区公認スポーツ指導員も参加できる。